

①事業の基礎情報

事業名	めざす子ども像推進事業		担当部・グループ名	教育委員会 教育センターグループ						
実施期間	平成26年度～平成29年度		担当GL氏名	内藤 克己						
新規・継続の別	継続事業		電話番号(内線)	52-1111(内線 350)						
総(計画)基(業)系(画)体	個別目標	(4)学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます		予 算 書 上 の 予 算 ・ 事 業 名	款 10款 教育費					
	こんなことに取り組みます	高浜市として育てていきたい子どもの姿を策定し、地域ぐるみで子どもの成長を見守り、手助けする教育基盤づくりを進めます。		目 事業名	1項 教育総務費 1目 教育委員会費 1 教育委員会運営事業					
	みんなで目指すまちづくり指標名	・学校が好きと感じている子どもの割合 ・学習に積極的に取り組む子どもの割合		総合戦略	■該当する □該当しない					
	現状値(H25)	・82 ・69	実績値(H26)	・88 ・77	実績値(H27)	・88 ・76	実績値(H28)		目標値(H29)	・85 ・75

②事業の概要

目的 (何をどうするために)	<p>★学習指導要領の理念である「生きる力」、いわゆる「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健やかな体」の3つの力をバランスよく、確実に育むため。</p> <p>★各園、各校が12年間の学びや育ちを切れ目なくつなぐことを意識した保育・教育を実践するため。</p> <p>★子どもの教育を、学校だけでなく、家庭・地域と連携しながら、地域ぐるみで取り組む基盤を作るため。</p>		
対象(誰・何を対象に)	市内すべての年長児、小学6年生、中学3年生 市内すべての幼保小中職員、すべての保護者、地域	対象の数量	11園、7校
最終目標 (最終的に何がどうなれば達成か)	<p>☆教職員そして保護者や地域住民の間でも「高浜市として育てていきたい子どもの姿」が指針として浸透し、家庭・地域も一体となって発達段階に応じた教育が展開され、教育基本構想の目標の1つである「幼・保、小、中、地域が協働した、学びや育ちを繋ぐ仕組みづくり」ができています。</p> <p>☆それぞれの年齢に応じた生活習慣や学習習慣を身につけた子どもが増えている。</p>		

③事業にかかる事業費概要

平成27年度(当初予算額)		決算額	主要内容		
事業費総額(千円)		380	376	・カレンダー作成費 376千円	
財源内訳	一般財源	380	376		
	特定財源	国・県支出金	—	—	
		その他	—	—	
補助事業・単独事業の別		単独事業	単独事業		



2015年度7月 6月 水無月

日	1	2	3	4	5	6
5/20						
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

▲「目指す子ども像」カレンダー

④平成 27 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どのように・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	◆「目指す子ども像」周知のためにカレンダーを配布した。また、PTA 総会などを活用して、保護者へ説明した。	H27.5	—
	◆「目指す子ども像」周知のために実践した具体的な取り組みを推進委員会で発表した。	H27.8	—
	◆広報に毎月の重点目標を紹介した。	H27.7～	—
参画・協働・ 情報共有の工夫	★ 月に一度、広報に「目指す子ども像」を分かりやすく伝えている。		
	★ 子どもたちの様子が分かる写真や、子どもの作成したイラストや、行事などが掲載された楽しくわかりやすいカレンダーを保護者だけでなく、まち協などにも配布した。		
進捗状況	当初に掲げた計画どおり、順調に進めることができた。		
実施内容に 対する成果 (事業の自己評価)	☆ カレンダーで園や学校の取組について家庭や地域に知ってもらうことができた。		
	☆ 市立図書館が国語の教科書の読書案内に掲載されている本を特設コーナーを設けて紹介、読書の幅を広げることに貢献できた。		



⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 27 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
<u>(1) 目指す姿に向けた意識醸成</u> ・目指す姿の強調月間が教職員には、日常的に当然行うことなので、意識されにくい。	・強調月間であることを職員会などで周知するよう、依頼する。



⑥課題解決に向けた平成 28 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どのように・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに (年月)
計画(案)	◆異校種間連携推進委員会でカレンダーを効果的に使う工夫や事例を発表し合い、情報の共有化を図る。	H29.2
	◆以下のような点を備えたカレンダーを作成する。 ・めざす子ども像がわかりやすく表示されていること。 ・めざす子ども像に向かう取組が写真やイラストで示されていること。 ・各月の強化目標がわかりやすく示されていること。	H29.3
参画・協働・ 情報共有の工夫	☆カレンダーの作成にあたっては、写真を多く掲載し、目指す子ども像を分かりやすく伝えていく。	

特記事項	
------	--